

杉並区長選挙を振り返って（7月26日）

7月11日、私が出馬した杉並区長選挙が終わりました。選挙の結果は、19,306票を賜りましたが、力及ばず敗北に終わりました。選挙後1週間、駅立ちをして報告した後、今回の選挙をじっくり振り返っておりました。

まず、今回の選挙において投票をしてくださった方に対して御礼を申し上げることは公選法の関係でできませんが、本当に感謝の気持ちに溢れております。

5月6日の金融庁退官後、5月13日の参議院東京選挙区の出馬会見（他党）から、6月4日の杉並区長選挙出馬会見、6月21日の渡辺喜美代表と臨んだみんなの党推薦の会見、6月30日のマニフェスト発表の会見と、目まぐるしく動いた激動の日々でありましたが、杉並区長選挙に臨むにあたり、当初、無所属となりどこの誰の推薦もない中で最後まで私を支えてくれたスタッフや支援者の皆さん、そして、推薦をいただいたみんなの党関係者の温かいご厚情に感謝の気持ちで一杯です。

今回の選挙・政治活動は、たった2ヶ月強という滝のように流れる短い時間でしたが、本当に多くの新しい人生の先輩、仲間との出会いがありました。

特に、あえて、リスクを冒して新参の若い私を支援してくださった区民の皆様、また、荻窪駅を中心とした街頭演説において、「給与の3割削減をきちんとやってね」「杉並区も大胆に変わらないといけない」「ここから日本を変えるんだよな」「応援するからね」など、暖かくまた熱いご支援を賜った沢山の区民の皆様、そして選挙後も選挙前以上に暖かく活動を見守って下さる区民の皆様、に感謝の気持ちで一杯です。

今回のこうした出会いや経験を新たなる決意の第1歩として、これまで以上に政治活動に邁進し、更に前進を続けていく強い覚悟であります。

藤岡たかお